

審議会等名称		伊勢原市特別職報酬等審議会		
事務局		総務部職員課		
開催日時		令和8年6月22日(月)～同年7月3日(金)		
開催場所		郵送及び E-mail による書面開催		
出席者	委員	原田悠希(会長)、前場秀雄(職務代理)、石上悦子、市川清美、岡元剛、齊藤政和、辻雅弘、濱田光子、遠藤謙治、平田順子		
	その他			
	事務局			
公開の可否		☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開	傍聴者	—
非公開・一部非公開の場合は、その理由		短期間での集中的な審議が必要であり、書面による効率的な意見集約を優先したため、非公開での開催といたしました。		
審議の経過		第3回審議会(書面開催)において、委員から示された特別職の報酬等のあり方に関する主要な意見は、以下のとおりです。 1. 答申素案について 報酬等の考え方について、市長報酬は市の規模を鑑み減額改定が妥当だが、副市長・教育長の増額は不要ではないかという意見や、社会情勢(最低賃金の上昇等)を踏まえれば増額は妥当であるものの、役職間の増額幅の差に懸念を示す意見がある一方、特別職の重い職責や多大な拘束時間を考慮すべきとの意見も出されたが、答申素案については10名中8名の委員から妥当であるとの意見が提出された。 また、文言の修正に関して、物価高騰下にある市民生活の厳しさを踏まえるべきという視点を答申文に加えることや、一般職給与や民間給与の動向を「勘案する」など、より積極的に関連性を示す表現へ修正すべきとの意見があった。 2. 議員報酬の検討案について 答申の構成について、まず過去の算出方法(案1)を妥当でないと指摘し、次に現行水準の維持(案2)が不可欠であるとした上で、引き上げる場合は市部長級の改定率を現行の額に乗じる方法(案3)または部長級職員の給料水準を基準とする方法(案4)が望ましい、という論理構成を提案する意見があった。		

	答申額の考え方については、議員一人当たりの人口を他市と比較し、現行額での据え置き(案2)を支持する意見があった一方で、なり手不足や他市の動向から下方改定は望ましくないとの指摘もされた。引き上げ案に関しては、案3と案4の併記を望む声があったものの、案4における役職間の改定額の差に懸念が示され、案3(改定率)採用時には定期的な検証が必要との意見もあった。 また、社会情勢を踏まえた改定に際しては、人口対議員数の順位を参考にすべきだという意見も出された。 各委員が望ましいと考える案については、案1が1名、案2が4名、案3が8名、案4が6名という結果となり、複数案の併記が望ましいと回答した委員が8名、単独案で回答した委員が2名となった。 以上
--	---